

神よ、選ばれた証人たちに、み姿が変わり、み衣が白く輝く尊い独り子を、山の上でお示しになりました。どうかわたしたちに恵みを与え、揺れ動くこの世から救い、信仰によって、栄光の王の美しいみ姿を仰ぎ見ることができるようになってください。父と聖霊とともに、世々に栄光ある主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

発行日
2023年
8月6日

皆さん こんにちは。8月から聖パウロ教会では高橋宏幸主 教 様を管理牧師の先生としてお迎えしました。高柳 執事と分担して、はこぶね号外の聖書メッセージもお書きくださいます。楽しみに読んでね！！



今週の聖書 ルカによる福音書 9:28-36
28 この話をしてから八日ほどたったとき、イエスは、ペトロ、ヨハネ、ヤコブを連れて、祈るために山に登られた。29 祈っておられるうちに、イエスの顔の様子が変わり、衣は白く光り輝いた。30 見ると、二人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤである。31 二人は栄光に包まれて現れ、イエスがエルサレムで遂げようとしておられる最後のことに話していた。32 ペトロと仲間、眠りこけていたが、目を覚ますと、イエスの栄光と、一緒に立っている二人の人が見えた。33 この二人がイエスから離れようとしたとき、ペトロがイエスに言った。「先生、私たちがここにいるのは、すばらしいことです。幕屋を三つ建てましょう。」

聖書からのメッセージ 『静かに』 主 教 高橋 宏幸

十字架を目の前にしたイエス様は、ペトロ、ヤコブ、ヨハネを連れて山に登られました。すると、そこへ十 戒を授かったモーセと、預言者を代表するエリヤが現れ、話し合いが行われました。当然、言葉を使って話し合ったはずですが、私 たちも毎日言葉を使い、お祈りでも言葉を使いますが、言葉とセットになっている大切な沈黙という、静かな時間を持つというものがあります。

ただし、沈黙とはただ黙っていることではありません。心を落ち着かせて神様に語りかけ、神様の声を聴こうとすることです。イエス様も母親マリアも、その他多くの人たちが沈黙を大切にしてきました。なぜなら、神様の声をしっかり聴くことができるようにするためでした。

一つはあなたのため、一つはモーセのため、もう一つはエリヤのために。」ペトロは、自分でも何を言っているか、分が現れ、彼らを覆った。彼らが雲に包まれたので、弟子たちは恐れた。35 すると、雲の中から、「これは私の子、私の選んだ者。これに聞け」と言う声がした。36 この声がしたとき、イエスだけがそこにいられた。弟子たちは沈黙を守り、見たことを当時、誰にも話さなかった。